



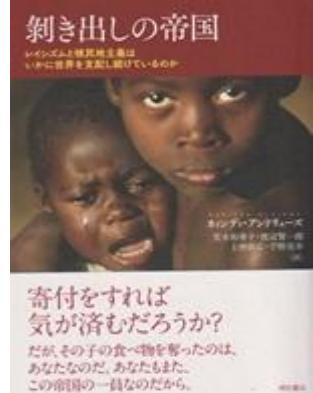
お江戸舟遊び瓦版 1144(1)号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田13-10

カインディ・アンドリューズ「剥き出しの帝国(1)」明石書店 25.9.5

はじめに——レイシズムは生死にかかわる問題である

- 2020年警察によるジョージ・フロイド殺害事件は、人種差別主義(レイシズム)・ブラック・ライブズ・マター運動を全米にもたらした。
- 新型コロナウイルスは欧米中を完全に分裂させこのウイルスが社会の状況を均す「偉大なレベラー」かどうかが議論されたほどである。
- イギリスでもアメリカでも、貧しい人、弱い人、民族的マイノリティの人々は、ウイルスに感染する確率も、死亡者もはるかに高いことが明らかになった。新型ウイルスは民族的マイノリティを標的にしたがこれらの人々が都心部に集中し、貧困率が高いこと、エッセンシャルワーカー中心が要因だ。



序章 帝国の論理

- 私たちは、西洋が科学、産業、政治の3つの偉大な革命の上に築かれているという神話を早急に打ち消さねばならない。代わりに、大量虐殺、奴隸制、植民地主義がいかに西洋を築いた重要な礎石であるかを浮き彫りにする必要がある。しかし、今日も継承され、白人至上主義と富と不平等を形成している。
- ヨーロッパ諸国による植民地支配が崩壊し、米国が帝国の中心となる道が開かれた。国連、国際通貨基金(IMF)、世界銀行、世界貿易機関はすべて、植民地主義の論理と新植民地主義を管理する役割を担っている。帝国の新時代において、米国は現代の植民地主義的権力の中心となっている。米国は英国の専制政治から解放しようと考えている。
- アメリカを再び偉大な国(MAGA)のスローガンは帝国主義のノスタルジーに基づいている。人種隔離、公民権法の否定、治安維持の重視、米国による歯止めのない世界支配。
- 英国もまた古き良き時代へのあこがれを抱く様になった。2016年にEUへの束縛から解放されると、英国政府関係者は、この国が世界に再び「帝国2.0」を空想するようになった。
- 帝国の再構築には様々な理由から問題がある。インドのような国が世界の主要な大国として台頭し、西洋が衰退していると言われてきた。G20には、現在、韓国、日本、インド、インドネシア、南アフリカ、ブラジル、アルゼンチン、サウジアラビア、トルコが参加している。トランプは選挙戦でグローバリゼーションに反対し、選挙後は失われた力を取り戻そうと中国との貿易戦争を引き起こしている。
- 家父長制が現代社会を形づくる上でいかに根源的なものであるかを理解することが重要だ。ジェノサイド、奴隸制、植民地主義がなければ、ヨーロッパの工場で働く革命的とされるプロレタリアが存在する為の富も資源もない。資源もないのである。

第1章 「われは白人である、ゆえに我あり」

- 「もちろん啓蒙主義は人種差別的でしたよ」とBBCテレビで私は答えた。それは、「哲学者の大半を、アフリカとアジア出身者にすることを要求する運動」において、西洋社会を支える知的活動についての質問に対してで、英国のメディアや大学当局の一部を騒然とさせた。
- 17世紀と18世紀の啓蒙主義は西欧と米国で出現し、現代世界の知的基礎となっている。西洋の神聖な知識を人種差別的だと非難することは、多くの人に受け入れられなかった。
- ヨーロッパ思想史では、聖なる哲学者たちの肯定的な面ばかりが紹介され、否定的な側面については全く紹介されない。学問においてカントを批判することは、イエスの道徳性を疑うことと

同じようなのである。しかし、カントの人種に関する言及は当時の人種関係を反映しているだけでなく、カントが「白人の人種の中に人間性の最も偉大な完璧さ」を見た暴力的で醜いレイシストであることが判るであろう。彼は「黄色いインディアンがわずかな才能を持っている」ことを寛大に認めながらも、「ニグロインディアンよりもはるかに下であり、最も低い所に位置するのはアメリカ人の一部である」と断言している。「ニグロ」は「怠け者で、無精であり、のらくろしている」というカントの考えは、奴隸化することを正当化するために使われたのである。

- 15世紀の終わりごろ、ローマ帝国の崩壊以来、ヨーロッパは何世紀にわたって孤立していた。宗教的教義と封建的抑圧に支配された暗黒時代にあり、イスラム世界への十字軍遠征を別として地球を征服しようと言いう考えはなかった。
- イスラム帝国では学問が栄え、バクダッドなどの都市は知識生産の首都としての栄誉を競い合った。眼科、医学、天文学などどれもが盛んだった。19世紀に「才能ある若いキリスト教徒は皆、アラブの書物を熱心に読み、勉強している。彼らは莫大な費用をかけて膨大な費用を集め…自らの言語を忘れた」と嘆いたほどだった。アラビア語は、15世紀までには知の言語となった。
- ギリシャ文明以前に、エジプトは数千年にわたり進歩の中心として君臨していた。ピラミッドだけでも、エジプトの文明を証明することができる。学校では紀元前3世紀に建築家が円周率を発見したというが、その2千年前に建てられたギザの大ピラミッドの周囲を半分にして高さで割ると、πの近似値になる。エジプトが当時のヨーロッパを凌駕していたことは明らかだ。
- 今日のグローバル経済は、白人至上主義のもとに構成され、アフリカは地球上で最も貧しい大陸であり、白人が多数を占める国々は最も豊かな国であるとされた。

第2章 ジェノサイド

- ジョージ・フロイド殺害事件後、コロンブス像が標的になり、全米で記念碑が斬首され、取り壊された。コロンブスの日に対する抗議は何十年も続いている。1492年、コロンブスは青海原を航海し、船から下りると、「発見」したとされる先住民に大量虐殺（ジェノサイド）による恐怖の支配をもたらしたからだ。小学生には「昔むかし、ジェノサイドがありました」が望ましいのだ。
- イギリスは、アメリカ大陸にスペインやポルトガルより遅れてこの地に進出した。先住民は極めて組織的で、最後の最後までヨーロッパ人に抵抗した。
- アメリカ独立戦争でワシントン将軍は、無慈悲にも「周囲の全ての入植地を破壊するために効果的な方法で荒廃させる指示」を発出し、焦土作戦を命じた。カリフォルニアの先住民の人口は、1800年に31～75万人が、1907年には1.8万人にまで減少した。
- コロンブスが偶然アメリカ大陸に上陸した時、ヨーロッパは世界の大半から後れを取っていた。宗教的なドグマ、戦争、暗黒時代によってヨーロッパの発展は停滞していた。先住民が除去されなければならなかった。19世紀にオーストラリアのタスマニア島に入植したイギリス人は先住民を根絶やしにした。アメリカ大陸の入植者植民地主義は西洋の発展に不可欠な特徴で、破壊して置き換える帝国主義の手法である。

第3章 奴隸制

- 環大西洋奴隸制度は西洋の発展の原動力となった。この制度から得られる巨万の富によって、西洋は世界の他の地域に追い付き追い越せるようになったのだ。アフリカ人を人間以下の商品に貶め、西洋の進歩のための主要な通貨にしたのだ。
- イギリスの発展には、産業革命の科学的な創意工夫と努力の産物と言われているが、産業革命も奴隸制度や植民地主義による資金や資源に依存していたのである。様々な学者が産業革命における奴隸制の意義を軽視しようとしてきた。
- 18世紀にイギリスとフランスが貿易を支配するようになるが、両国は熾烈な敵対関係にあり、プランテーションは真っ向から競合し、ブリストル、リバプール、グラスゴーとナント、マルセイユ、ボルドーは奴隸港としてライバル関係にあった。ナントは1666年に奴隸売買を始めていた。